

日本学術会議の答申で示された農業の多面的機能

- 1 持続的食料供給が国民に与える将来に対する安心
- 2 農業的土地利用が物質循環系を補完することによる環境へ貢献
 - (1) 農業による物質循環系の形成
 - ① 水循環の制御による地域社会への貢献
 - ・洪水防止 ・土砂崩壊防止 ・土壌浸食(流出)防止
 - ・河川流況の安定 ・地下水かん養
 - ② 環境への負荷の除去・緩和
 - ・水質浄化 ・有機性廃棄物分解 ・大気調節(大気浄化、気候緩和など)
 - ・資源の過剰な集積・収奪防止
 - (2) 二次的(人工の)自然の形成・維持
 - ① 新たな生態系としての生物多様性の保全等
 - ・生物生態系保全 ・遺伝資源保全 ・野生動物保護
 - ② 土地空間の保全
 - ・優良農地の動態保全 ・みどり空間の提供
 - ・日本の原風景の保全 ・人工的自然景観の形成
- 3 生産・生活空間の一体性と地域社会形成・維持
 - (1) 地域社会・文化の形成・維持
 - ① 地域社会の振興 ② 伝統文化の保存
 - (2) 都市的緊張の緩和
 - ① 人間性の回復 ② 体験学習と教育

※出典：日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農村及び森林の多面的な機能の評価
について(答申)」(平成13年11月1日)

上記による「大分県農業農村の多面的機能の貨幣評価」

洪水防止機能	741億円/年
河川流況の安定機能	455億円/年
地下水かん養機能	9億円/年
土壌浸食(流出)防止機能	44億円/年
土砂崩壊防止機能	27億円/年
有機性廃棄物処理機能	4億円/年
気候緩和機能	2億円/年
保健休養・やすらぎ機能	218億円/年
合計	1,500億円/年